



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月5日

上場会社名 株式会社前田製作所 上場取引所 JQ
 コード番号 6281 URL <http://www.maesei.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)土屋 俊一
 問合せ先責任者 (役職名)財務部長 (氏名)高木 文雄 TEL (026)292 - 2225
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日~平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	4,693	14.7	259	-	242	-	265	-
22年3月期第1四半期	4,093	47.0	599	-	595	-	900	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	16	51	-	-
22年3月期第1四半期	56	02	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年3月期第1四半期	19,139		3,545		18.5	220	65	
22年3月期	20,575		3,943		19.2	245	47	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 3,545百万円 22年3月期 3,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	-		0.00		0.00	0.00
23年3月期	-					
23年3月期(予想)			0.00		0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	10,800	12.8	150	-	160	-	200	-	12	45
通期	24,000	8.1	230	-	180	-	120	-	7	47

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 - 社 () 除外 - 社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	16,100,000株	22年3月期	16,100,000株
23年3月期1Q	33,691株	22年3月期	33,391株
23年3月期1Q	16,066,471株	22年3月期1Q	16,068,688株

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における日本経済は、輸出の増加や政府の経済対策効果を背景に緩やかな景気回復の状況にあるものの、一方で、ギリシャに端を発した欧州諸国の財政危機をきっかけとして株安や円高が進むなど、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客である建設業界は、住宅着工件数は小幅に増加したものの、民間設備投資が依然低レベルに留まっている中、公共投資の厳しい絞込みの影響を受け低調に推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループは新中期3ヶ年経営計画の初年度である当第1四半期連結会計期間において、利益体質改善を図るための総経費の削減を含む「全ての事業、業務の効率化」、積極的な営業活動による「マーケットシェアの向上」に取り組んでまいりましたが、業績の改善は小幅に留まり、当第1四半期連結会計年度の連結売上高は、前年同期比14.7%増加の4,693百万円余(前年同期は4,093百万円余)、連結営業損失259百万円余(前年同期は599百万円余の損失)、連結経常損失242百万円余(前年同期595百万円余の損失)、連結四半期純損失265百万円余(前年同期は900百万円余の損失)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間のセグメント別概要は、次のとおりであります。

建設機械関連事業

建設機械関連事業の売上高は、3,390百万円余となりました。

建設機械関連商品は、前年同期の国内建設機械総需要が大幅に減少した反動から1,644百万円余となりましたが、建設機械関連レンタルは、民間設備工事の減少が続いていることから655百万円余、建設機械関連整備は、1,091百万円余とほぼ前年同期並みとなりました。

産業・鉄構機械等関連事業

産業・鉄構機械等関連事業の売上高は、946百万円余となりました。

産業機械関連製品は、国内民間設備投資の回復の遅れから、レンタル業界が投資抑制を継続していることに加え、欧州諸国の財政危機から派生した円高の影響を受け、主力自社製品である「かにクレーン」の販売が、315百万円余と微増に留まりました。また、産業機械関連商品は187百万円余となりました。

鉄構機械関連製品においては、IT業界は回復基調にあるものの、製造設備の増設までには至っていないことから、IT関連製造装置が伸長せず158百万円余となりました。また、産業機械関連その他売上は、284百万円余となりました。

その他事業

その他事業の売上高は、355百万円余となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,076百万円余減少し8,583百万円余となりました。これは主に、たな卸資産が287百万円余増加したものの、受取手形及び売掛金が1,367百万円余減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ359百万円余減少し10,556百万円余となりました。これは主に、株価が下落したことにより投資有価証券が減少したことによるものであります。

これにより、総資産は、前連結会計年度末に比べ1,436百万円余減少し19,139百万円余となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ908百万円余減少し11,941百万円余となりました。これは主に、短期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ129百万円余減少し3,652百万円余となりました。これは主に、繰延税金負債の減少によるものであります。

これにより、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,037百万円余減少し15,594百万円余となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ398百万円余減少し3,545百万円余となりました。これは、四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が265百万円余減少したこと及びその他有価証券評価差額金が133百万円余減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は18.5%(前連結会計年度末は19.2%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて60百万円余増加し、926百万円余となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,383百万円余(前年同期は302百万円余)となりました。これは主に、売上債権の減少によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、184百万円余(前年同期は216百万円余)となりました。これは主に、貸与資産等の有形固定資産の取得によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,138百万円余(前年同期は677百万円余)となりました。これは主に、営業活動によるキャッシュ・フローにより得た資金に応じて有利子負債の削減を行ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、業績予想を見直す必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計基準等の改正に伴う変更

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております

これにより、営業損失及び経常損失が172千円、税金等調整前四半期純損失が6,373千円それぞれ増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は12,508千円であります。

以外の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	946,782	886,130
受取手形及び売掛金	4,215,487	5,583,414
たな卸資産	2,837,581	2,550,364
未収入金	577,176	635,016
その他	90,580	86,430
貸倒引当金	84,595	81,371
流動資産合計	8,583,013	9,659,985
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産	7,555,150	7,383,659
減価償却累計額	4,805,551	4,592,648
貸与資産(純額)	2,749,598	2,791,010
建物及び構築物	7,680,911	7,674,603
減価償却累計額	5,131,521	5,079,900
建物及び構築物(純額)	2,549,390	2,594,702
機械装置及び運搬具	1,840,720	1,820,746
減価償却累計額	1,551,579	1,540,988
機械装置及び運搬具(純額)	289,140	279,757
土地	2,756,660	2,757,933
リース資産	723,500	719,696
減価償却累計額	246,630	212,979
リース資産(純額)	476,870	506,717
その他	621,719	621,882
減価償却累計額	544,857	537,542
その他(純額)	76,861	84,340
有形固定資産合計	8,898,521	9,014,462
無形固定資産		
借地権	41,148	41,148
ソフトウェア	85,064	91,009
その他	361	368
無形固定資産合計	126,573	132,526
投資その他の資産		
投資有価証券	1,287,886	1,505,882
その他	331,884	343,934
貸倒引当金	88,161	80,807
投資その他の資産合計	1,531,609	1,769,009
固定資産合計	10,556,705	10,915,998
資産合計	19,139,719	20,575,983

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,744,370	3,705,378
短期借入金	7,169,463	8,210,244
リース債務	136,080	134,420
未払法人税等	13,773	28,213
賞与引当金	89,490	185,320
その他	788,539	586,415
流動負債合計	11,941,716	12,849,993
固定負債		
長期借入金	106,740	151,830
リース債務	379,809	409,162
繰延税金負債	234,660	322,675
退職給付引当金	2,586,909	2,611,844
その他	344,864	286,672
固定負債合計	3,652,983	3,782,184
負債合計	15,594,699	16,632,177
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,160,000	3,160,000
資本剰余金	100,000	100,000
利益剰余金	46,714	218,474
自己株式	10,754	10,694
株主資本合計	3,202,531	3,467,780
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	342,488	476,025
評価・換算差額等合計	342,488	476,025
純資産合計	3,545,019	3,943,805
負債純資産合計	19,139,719	20,575,983

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	4,093,143	4,693,126
売上原価	3,552,193	3,996,108
売上総利益	540,949	697,018
販売費及び一般管理費	1,140,525	956,687
営業損失()	599,575	259,669
営業外収益		
受取利息	1,214	1,355
受取配当金	15,600	8,613
助成金収入	7,303	21,169
不動産賃貸料	1,747	1,747
その他	6,463	15,599
営業外収益合計	32,330	48,484
営業外費用		
支払利息	22,810	20,152
手形売却損	5,125	3,712
その他	683	7,906
営業外費用合計	28,619	31,770
経常損失()	595,864	242,955
特別損失		
固定資産除却損	221	1,791
減損損失	2,553	1,272
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	6,201
特別損失合計	2,775	9,264
税金等調整前四半期純損失()	598,639	252,219
法人税、住民税及び事業税	6,849	10,466
過年度法人税等戻入額	12,299	-
法人税等調整額	306,982	2,503
法人税等合計	301,532	12,969
少数株主損益調整前四半期純損失()	-	265,189
四半期純損失()	900,172	265,189

